

丘の上便り

「自立」への道のり

男子棟主任 鈴木伊作

2021年度の男子棟は、様々な悩みや問題を抱えながらも前向きに多くのことを体験し、それぞれが成長することができました。ある高校生は「将来のために」とアルバイトを始め、お金を稼ぐこと、学校や生活との両立の大変さを学ぶことができました。その他にも「強くなりたい」と習い事を始めた小学生や、「高校に行くために」と本人の強い希望で通塾を始めた中学生もいました。振り返ってみると、まずはユニットの担当職員が愛情をもって子どもに寄り添い、しっかりと子どもの声を傾けてくれたこと、成長の場を提供していただいた地域の皆様に、改めて感謝の気持ちでいっぱいになります。本当にありがとうございます。そんな男子棟も、この春、数名の高校生が高校の卒業と同時に、学園を退園しそれぞれの進路に進んでいきます。ある行政機関が取りまとめたアンケートによると、児童福祉施設入居者の高校卒業後の進路先として、約7割が就労を選択しており、その中には経済的な理由によって進学を諦めたり、進学を選択してもその大半は奨学金を利用します。全体の8割は1人暮らしをし、自らが家計を支えながら生活を始めることとなります。また、退園後には孤独感、経済面の不安、人間関係の悩みなどの問題もでてきます。男子棟から自立する児童も例外なく進学する児童は奨学金を利用し、就職する児童も同様に、各機関の様々なサポートを受けることとなります。園としても自立支援基金の設立や、各機関との連携などの継続的な自立支援のシステムの構築に力を入れており、将来を含め、子どもたちが「今」を悔いなく生きるために、これからも「まずはやってみよう」と思えるような環境作りを、今後私たちが職員が前向きに取り組んでいきたいと思えます。

第60回

神奈川県児童福祉文化体育協会主催 神奈川県児童福祉施設作品展 第60回「あすなる作品展」開催

今年もコロナの影響により子どもたちが鑑賞することはできず我慢の年となりました。それぞれの個性あふれる作品を見て「こんなに器用だったのね!」「こんな感じ方をしているんだ!」など、作品を通して子どもたちの新たな一面を見ることができました。子どもたちにとって「あすなる作品展」で賞を取ることは目標であり挑戦です。そして、このような大切な場をご提供いただけることに感謝いたします。そして!今年も!横浜中里学園の子どもの中から銀賞が出ました!とても素晴らしい書です。学園内に展示されている子どもたちの作品を見る度に、私たち職員もなぜか自然と背筋がピンと伸びます。子どもたちの挑戦する姿をこれからも応援していきたいと思えます。このような大変な時期にも関わらず、今年も作品展を開催して下さった関係者の皆さま、心より御礼申し上げます。



去年に続き、今年も銀賞に選ばれました。数ある作品の中から選んでいただき、銀賞を受賞した子どもは今後の自信に繋がると思えます。



「子どもの成長を感じた職員」
素晴らしい会になりました



3月21日 涙と笑顔溢れる「横浜中里学園 卒業・入学を祝う会」

学園では毎年度末に「卒業・入学を祝う会」を園全体の行事として行っています。今年は13人の子どものお祝いをしました。中には高校を卒業し18歳を迎えた子、家庭引き取りが決まった子も居り、お別れも多くありました。無事に卒園できた事に安堵する一方、これからは近くで見守れない事に心配もあり、彼らが一人でないを感じながらちゃんと頑張れますようにと、学園を去っていく背中に願うばかりです。

各棟 ユニツト 行事



11月6日 秋の深まりを感じながら開催「焼き芋大会」

秋の季節行事として例年行っているバーベキューは、コロナ感染予防のため焼き芋大会に変更して行いました。準備には子ども達も参加しました。火起こしがとても大変だと身に染みたようです。苦勞して焼いたお芋の味は格別でした。おまけのマシュマロも大人気。今度はサツマイモを育てるところから始めて収穫祭ができればいいな…と画策中です。

「心も身体もポッカポカ」
ホックホクの焼き芋完成



12月18日

心地よい冬晴れの中開催「園内クリスマス会」

毎年恒例、サンタさんの格好をしたバンドメンバーの方の演奏でクリスマス会スタート！ケーキとシャンメリーで乾杯！各棟が出し物を行い、男女関係なく楽しむ姿に、改めて仲の良い学園だな〜と、実感出来ました！来年もクリスマス会が待ち遠しいです！

年少棟演奏 ハンドベル「きよしこの夜」

年長・小学生が中心となり、この日のために1ヵ月半かけて練習したのは「ハンドベル」。練習当初からみんな筋もよく本番は完璧な演奏を披露し、みんなから「すごい！」と声があがりました。達成感と感動のクリスマス会となりました。

年少棟 12月24日 クリスマス会

園長先生がサンタさんになり子どもたちにプレゼントを渡してくれました！プレゼントはとても喜んでいましたが、「本当のサンタさんは今日の夜来るんでしょう？」と言いきらしていました！

女子棟 12月26日 クリスマス会

お昼はしゃぶしゃぶの食べ放題！夜は園内のホールでビンゴ大会！とても楽しい一日となりましたが、この日は退職する職員とのお別れもあり、涙のクリスマスでした。

男子棟 12月27日 クリスマス会

子ども達一人一人がカラオケで歌を歌い、緊張しながらも、一生懸命に歌う姿がとても印象的でした。優勝に輝いたのは中学二年生の男の子でした！景品は任天堂スイッチのゲームソフト！ビンゴ大会も行い、豪華景品ゲットの為に一生懸命頑張っていました。最後まで笑顔溢れるクリスマス会でした！

「笑顔と涙のクリスマスパーティー」今年サンタさんは誰でしょう？本物みたいな園長でした！

ジブラルタ生命様と「顔の見える関係」を大切に

ジブラルタ生命保険株式会社様より、「横浜中里学園自立支援基金」へのご寄附をいただきました。令和3年8月に同社奥澤様に来園いただき、「こどもたちのために『顔の見える関係』を作りつつ、何かお手伝いすることはありますか。」というお申し出をいただきました。その中で、我々が必要とする支援についてお話しさせていただき、卒園生や、自立していくこどもたちのために役立つ支援をしていただくこととなりました。そして、12月に東京営業本部長の岩本様、横浜支社長植田様、同第一営業所安武様に来園いただき、ご寄附をいただきました。また、2月には、「卒園したこどもたちが困ったときに、職員が適切なアドバイスができるように」という事を目的とした、『社会保障セミナー』も実施していただきました。今後も『顔の見える関係』を大切にしつ、お付き合い願えればと思っています。本当にありがとうございました。



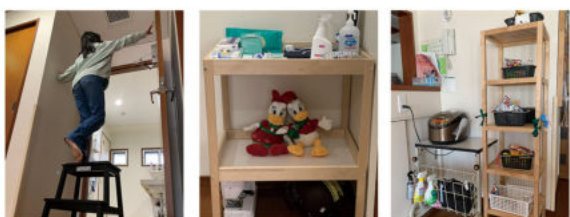
IKEA港北様より「木のぬくもりを感じる」ご寄附

IKEA港北 IKEA Family 子ども募金様より、家具の寄附をいただきました。子どもたちは、新しく快適な家具が届くと大喜びしました。木のぬくもりを感じる優しい家具たちに囲まれ勉強もお手伝いもはかどるはず！！いつもの空間が「ぱっ」と明るくなりおしゃれ空間に大変身！皆さまの温かいご支援本当にありがとうございました。心より御礼申し上げます。



自然とリビングに集まるようになりました。取り合いのソファですが一人になったら「ゴローン」と寝そべりリラックス。

男子棟では、踏み台・棚・ソファを頂きました。踏み台は小学生が洗濯機を回す時や身長が足りない時に大活躍、今までで手が届かなかった掃除場所にも意欲的に取り組むことが出来るようになりました。3段の棚は、今まで置き場所に困っていた、トイレットペーパーやトイレ用品などを置く場所に使っています。スペースが確保され、トイレに入るとトイレもお腹もスッキリです！子どもたちが大興奮したソファは、座り心地が良くソファで寝てしまう子も！職員も子どもたちと一緒に座る場所を取り合っています！こちらの要望に合わせた寄付をして下さり大変感謝しています。大切にに使わせて頂きます。



子どもは高い所が好き！寄附いただいた「踏み台」のおかげで自らお手伝いをしてくれるようになりました。

女子棟にはIKEA様より踏み台や棚を頂きました。踏み台は年末の大掃除で大活躍。5段の棚は子どもたちのおやつ置き場として使っています。子どもたちは学校から帰って来ると、真っ先にこの棚をチェックしています。リボンを巻き付けて自分の段を可愛くしている子も。玄関先にもマスクや消毒液やパソコンなど共有の物を置く為の棚を使わせてもらっています。その他にも4点の家具を頂き、どれも大変重宝しています。こちらの要望に合わせた寄付をして下さり大変感謝しています。ありがとうございます。

NEW 横浜中里学園「ホームページ寄附サイト」開設

当園で在籍するこどもたちの生活は、誕生日のこどもたちへの本のプレゼント、縫製ボランティア、学習ボランティア、理髪ボランティア、各種行事への招待等、様々な方々の物心両面での御支援により、豊かなものになっています。その一方で、卒園後一人暮らしをしながら、就労や進学をしていくこどもたちの生活は、厳しい現状があります。そこで、当園では今年度より「横浜中里学園自立支援基金」を創設し、卒園後のこどもたちの支援を物心両面でしていきたいと考えています。また、支援者の皆様が、ご寄附いただきやすいよう、クレジット決済による寄付受付を開始いたしました。詳しくはHPをご覧ください、趣旨にご賛同いただければ幸いに存じます。



寄附サイトはこちら

新任から2年 自分自身を振り返り見えてきた成長と新たな目標 大切なのは「時間をかけて寄り添う」こと

「ウサインボルトに勝つ」

男子棟所属 高橋 智也

入職してから早2年が経ちました。入職当初に掲げた目標は「ウサインボルトに勝つこと」でした。当初はウサインボルトが保持している100m走の記録9秒58を容易に超えることができると思っておりましたが、現状はそう上手くはいきませんでした。世界の頂点に立ったウサインボルトも3人の子どもを持つパパです。私は施設職員として6人の児童を担当しています。100m走では負けましたが、職員としてボルトに負けたくない子どもを愛し、支援していけたらと思います。

「信頼される職員になる」

年少棟所属 木嶋 ゆり

就職した当初の目標は「信頼される職員になる」でした。仕事をする上で職員間での信頼子どもからの信頼はすごく大切だと思っています。2年経った今、子どもからの信頼を得るには時間がかかったと実感しています。これまで、子どもと信頼関係を築けるように注意や叱ることもたくさんありましたが、子どもと向き合い、時間をかけて寄り添うこと子どもたちがよく話しを聞いてくれるようになり、職員としても頼ってくれるようになりました。時間はかかっても、かけることになり、これからも信頼をなくさないように過ごして行きたいと思っています。

「常に全力で頑張る」

男子棟所属 杉山 拓斗

初年度の目標は「常に全力で頑張る」でした。2年経ち振り返ってみると、子どもとの関わりでは、常に全力で取り組むことができ、関係性も徐々に築けるようになりました。夏は水風船をしたり、川に行ったり釣りをしたり、冬には雪合戦や雪だるまを作ったり、自分も楽しみながら子どもと関わることができました。3年目に入り、今まで築き上げた関係性を土台にして、子どもたちに挑戦する気持や目標を持ってもらい、自分も初心の気持ちを忘れず一緒に挑戦していきたいと思っています。

「楽しく笑ってみんなと過ごしたい」

女子棟所属 山田 結菜

「楽しく笑ってみんなと過ごしたい」という2年前の抱負は今も変わっていません。当時は子どもたちへの支援について難しく考えていました。コロナの影響で普段通りの生活が難しい今、どれだけ楽しく安定した環境の中で生活できるかが重要なのではないかと考えるようになりました。これから子どもたちと何度もぶつかり合っている自分が想像できる反面、徐々に信頼関係も築いていき、今よりも深い話ができる職員になっていく自分を想像します。2年前の抱負を忘れずに想像する職員に近づけて行けたら良いと思っています。

「子どもたちと仲良く」

女子棟所属 高木 梢

出会って間もなかった子どもたちと、「日々楽しんで過ごしたい。」と思い、「子ども達と仲良く」と抱負に書きました。2年間共に過ごす中で、今ではお互い遠慮もなくなり、口うるさくなってしまいうこともあれば、子ども達もそれぞれに応戦してきます。私自身、子どもの頃は、親をうっとおしいと感じる時もありました。それでも、何か困ったことがあった時、一番の味方でいてほしい存在だったと思います。「いつでも仲良く」とはいかなくても、「いざという時には自分の味方でいてくれる。ピンチの時は助けてもらえる。」と子ども達に感じてもらえるような存在になれたらと思います。



子どもたちの健やかな成長への願いを込めて、横浜中里学園では毎年お雛様を飾ります。この立派なお雛様は数年前に寄附いただいた物で、学園内で大切に保管しています。毎年心理士の先生と「お雛様は右？左？私たち関西出身だから関東に合わせよう」「あれ？お餅は真ん中だっけ？」など、毎年同じやりとりを何度もしています。これもまた横浜中里学園の風物詩となっています。

「LGBTQ」研修

特定非営利活動法人SHIP
講師 星野 慎二氏

多様性を認め自分らしく生きられる社会づくり

今回は、職員からの要望が多かった「LGBTQ」について、SHIPの講師の方をお招きしてお話を伺いました。職員一同、LGBTQについて曖昧な部分がありました。お話を聞き終えて改めて理解を深められた研修だと感じました。特に、周囲からどう扱われるか？その違和感をどう感じるか？で気づいていくというお話がとても興味深く、環境によってその違和感の感じ方が変わっていくのだとしたら、支援者として子どもたちにも関わっていかよく考えるべきだと考えさせられました。そして、見た目ではわからないからこそ、他人に言えずに悩んでいる人がいることを改めて認識しました。そう思っ自分の日常を振り返ってみると、自身の性について違和感を持ち生きづらさを抱えている人に対して、無意識に心無い態度をとっていることがあるのではないかと考えさせられました。



「アレルギー」研修

こども青少年局 こども家庭課
講師 栄養士 阿部拓馬氏

アレルギーのことを知ることが大事

簡単に考えてはいけない「アレルギー」。アレルギーにより命の危険もあること、どのような対応をとればよいか知ることが大事だと感じました。今回、アレルギー事故の事例をあげていただきましたが、不注意や確認不足は、どの場面でも起こりうることなので、他人事と済ませることなく、身を引きしめて業務に当たりたいと思えました。先生のお話で、好き嫌い対策のお話が、違った視点で興味深かったです。食べた・食べないで評価しないというお話が特に意外でした。自分では子どもを想っているつもりが、子どもの視点から見るとそうではないことに気づかされました。



児童家庭支援センターみたけ



IKEA港北 IKEA Family 子ども募金様より、家具の寄付をいただきました。こちらの要望に見事に応えてくださり、期待以上のお部屋に大変身しました。子どもたちも「かわいい♡」「お部屋が明るくなった！」と大喜び♪IKEA港北の皆様、本当にありがとうございました。



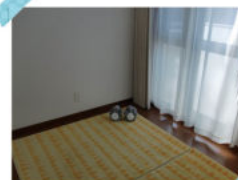
ウォールボードに早速子どもたちが飾りつけをしてくれました。フレームもいただいたので、子どもが描いた絵も飾れます。みたけらしいボードを作っていきたいです！



リビングにはラグと子ども用の椅子をいただきました。この椅子に座ってTVを観ると、いつもよりお行儀がよいような？



ぬいぐるみもたくさんいただきました。IKEAといえば…のサメもあります！ふわふわの触り心地で、子どもたちの癒しになっています。



子どもの寝室は明るい色のラグを敷き、お泊まりしやすい雰囲気になりました。うさぎのランプは子どもたちに大人気で、抱っこしながら勉強する子もいます♪



寄付・ボランティアの方へのお礼

いつも子どもたちのために、たくさんの寄付やボランティアを行っていただき、誠にありがとうございます。いただいた物、作っていただいた物、教えていただいたこと全て大切にさせていただきます。これからもどうぞよろしくお願い申し上げます。

寄付・寄贈（順不同）

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| (株) SL Creations 様 | 公益財団法人 報知社会福祉事業団 様 |
| (株) エス・トラスト 様 | 公益社団法人 JEO 様 |
| (株) カレンズ 様 | 公益社団法人 毎日新聞東京社会事業団 様 |
| (株) ジャストオートリーシング 小林秀清 様 | 公益法人 大和の心 様 |
| (株) スーパーメイト 様 | 坂本龍馬ファン有志の会 様 |
| (株) ゆうちょ銀行 様 | 自衛隊 市ヶ尾募集案内所 様 |
| (株) 丸電リース 様 | 社福 テレビ朝日福祉文化事業団 様 |
| (株) 小俣組 様 | 小山田早織様 (株) アメージングプレイズ 様 |
| CS COPORATION 様 | 上谷本地区民児協 樽谷 剛 様 |
| HOLUDONA (株) 様 | 植木 真 様 (ナチュラルレ・ボーノ) |
| クレイン不動産流通 (株) 様 | 信州の出版社 文屋 木下 豊 様 |
| ドミノピザ青葉台店 様 | 神奈川トヨタ自動車 (株) 様 |
| フィリップモリスジャパン 様 | 全国シャンメリー協同組合 様 |
| ほっともっと 様 | 太田屋精肉店 様 |
| 横浜幸銀信用組合 様 | 大正堂 様 |
| 吉本興業 (株) 出版事業部 様 | 日本鏡餅組合 様 |
| 互興運輸 (株) 徳橋 三郎 様 | 日本出版販売 (株) 様 |
| 神奈川県共同募金 様 | 有限会社 芝原建設 様 |
| ジブラルタ生命保険 (株) 様 | 三菱電機 (株) 鎌倉製作所 様 |
| IKEA港北店 様 | ナカムラ青果 様 |

志村 真希 様
横山 ニーナ凜 様
笠井 佳子 様
丸山 春子 様
窪田 道子 様
佐藤 澄夫 様
山崎 順子 様

小宮 幸恵 様
松村 知可子 様
杉本 明 様
瀬川 雅恵 様
川田 美音 様
保良 賢俊 様

中山 芳子 様
田中 ゆり 様
渡辺 智幸 様
馬川 佐和子 様
梅川 謙一 様
鈴木 夏子 様

ボランティアの皆様

ナチュラルレ・ボーノ 様
もえぎの学習支援サポーター 様
中山 芳子 様
鈴木 てい子 様
丸山 春子 様
野元 こづえ 様
柴田 和美 様
笠井 佳子 様

畠山 純子 様
根崎 耕一 様
根崎 ちづる 様
土屋 美加 様

天沼 将宏 様
武 愛子 様
上村 綾子 様
千葉 智子 様

◆編集後記◆

横浜中里学園の子どもたちは、卒業式・終業式を終え、のんびりとした時間が流れています。事務所内には心地よい春風とともに、子どもたちの元気な声を運んでくれます。ようやく春が近づき暖かい陽気に包まれます。横浜中里学園前の桜の木も色づきだし、優美な花を咲かせてくれます。振り返ると、去年もコロナで行事が縮小されたり、楽しいお泊り行事もお預けとなりました。「今年はきっと大丈夫！」なぜか桜の木を見ているとそんな気持ちになり、みんなの願いが届くような気持ちになりました。 広報担当